

会の会員数が減少しております。この商工会離れに歯止めをかけることはできないか町長の見解をお聞かせください。

揖斐川町内の6つの商工会は、来年4月1日の合併に向けまして協議を進められております。商工会は合併しても、それぞれの地域には、出張所職員を常駐していただき、会員との窓口をあけておくことが必要と思いますが、町長の考えをお聞かせください。

答 宗宮孝生町長

県下の商工会は、市町村の合併や財源難に伴う商工会組織の再編が進み6地域・17組織が既に合併しており、平成18年4月1日は、揖斐川町内の6商工会をはじめ24組織が合併による新組織誕生を目指しております。

商工会職員の出張所の勤務体制については、当事者である各商工会の役員等により構成される「商工会広域連携調査研究委員会」より出されたプランとして聞いております。町としましては、商工会員に対する現状のサービスが確保されるよう望んでおります。

しかしながら、商工会の合併の主体はあくまでも町内の1,100余名の商工会員であり、当然、合併の

組織形態や支所・出張所を含む構成も今後の合併に向けた協議の中で、よりよいプランについて検討されるものと思っております。

次に商工会員の減少対策については、過疎化や事業主の高齢化、後継者不足による廃業等に関しては一朝一夕に解決しない問題ですが、合併による「商工会事業の格差是正」「職員の専門性の向上による質の高いサービス提供」「スケールメリットを生かした広域的・大規模事業の実施」「組織の活性化」「起業化の支援」等の新しいメリットを商工業者や関係者の皆さんに積極的に働きかけていきたいと考えております。

問 日本プロゴルフ選手権の開催について

来年5月に日本プロゴルフ選手権が谷汲カントリーで開催されます。本大会は、74回目という大変歴史の古いトーナメントであり、ギャラリーは1日8千人から1万人を越えるといわれています。全国への揖斐川町のPRには大変ありがたいと考えております。町の活性化のひとつとして協力できればと思います。町長の考えをお聞きます。

答 宗宮孝生町長

町としても歴史のある日本ゴルフ界有数のメジャー大会が当地で開催されることは光栄であり、本町のPRの絶好の機会と捉えて地域の活性化、住民意識の高揚、町内観光交流

産業やスポーツ振興等の観点からも支援したいと考えております。現時点についての協力依頼については、宿泊施設の紹介や観客用駐車場の斡旋等が予想されます。また、会場での町内特産品等の販売についても主催者側に要望していきたいと考えております。

今後、大会に向けての様々な支援、協力が必要となると思われまので大会の成功に向けて、適切な対応を行いたいと思っております。

中井治美議員

問 森林整備基金の創設について

生活水準の向上にともなつて水の使用量は多くなりましたが、過疎化により山の手入れが行き届かなくなつております。森林の手入れをしてこそ、山が守られ、木が育ち、水の確保ができて、安定した水が確保できるものと思えます。森林整備の財源は、国も県も年々少なくなつております。水源地域の保全のため、森林整備基金の創設をすべきと考えま

すが町長の考えを伺います。

答 宗宮孝生町長

森林には、水源のかん養、災害の防止など様々な機能があり、私たちの暮らしを支える大切な存在です。森林の成長には長い年月が必要であり、一度損なわれると森林の動きを回復することは容易ではなく、森林の取扱いは、長期的な観点に立つて計画的かつ適切に行う必要があります。このため、揖斐川町森林整備計画の中で、町の森林ビジョンを描き必要な施策で森林所有者などへバックアップしながら、森林整備を進めていきたいと考えております。県が設置した「県民協働で森林環境を考える研究会」において、間伐推進や里山整備などに向けた森林整備の促進を図るため、「森林づくり条例」や「森づくり新税」の枠組みなどが提言されております。ご提案いただきました「森林整備基金」の創設につきましては、県の動向を踏まえ、今後議員の皆さんとも相談しながら検討してまいりたいと考えております。

小倉昌弘議員

問 下水道事業について